

# 2022年3月期 第2四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社  
2021年11月2日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2008 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光でおもしろくなる

**USHIO**



- ① FY2021 1 H（実績）は **増収増益**
- ② FY2021 通期公表値は **上方修正**（営業利益以下）
- ③ FY2021 1株当たり配当額（予定）は **26円で据え置き**

- 
- I. FY2021 1 H業績概要
  - II. FY2021 今後の見通し
  - III. 参考資料

**売上高** : **715億円** (前年同期比 +195億円、+37.6%)

半導体等の需要増加により「光学装置」が増収  
 新型コロナ影響から回復傾向にある「光源事業\_シネマ用ランプ」及び「映像装置」が増収

**営業利益** : **65億円** (前年同期比 +76億円)

増収による増益 及び 構造改革等による固定費抑制効果

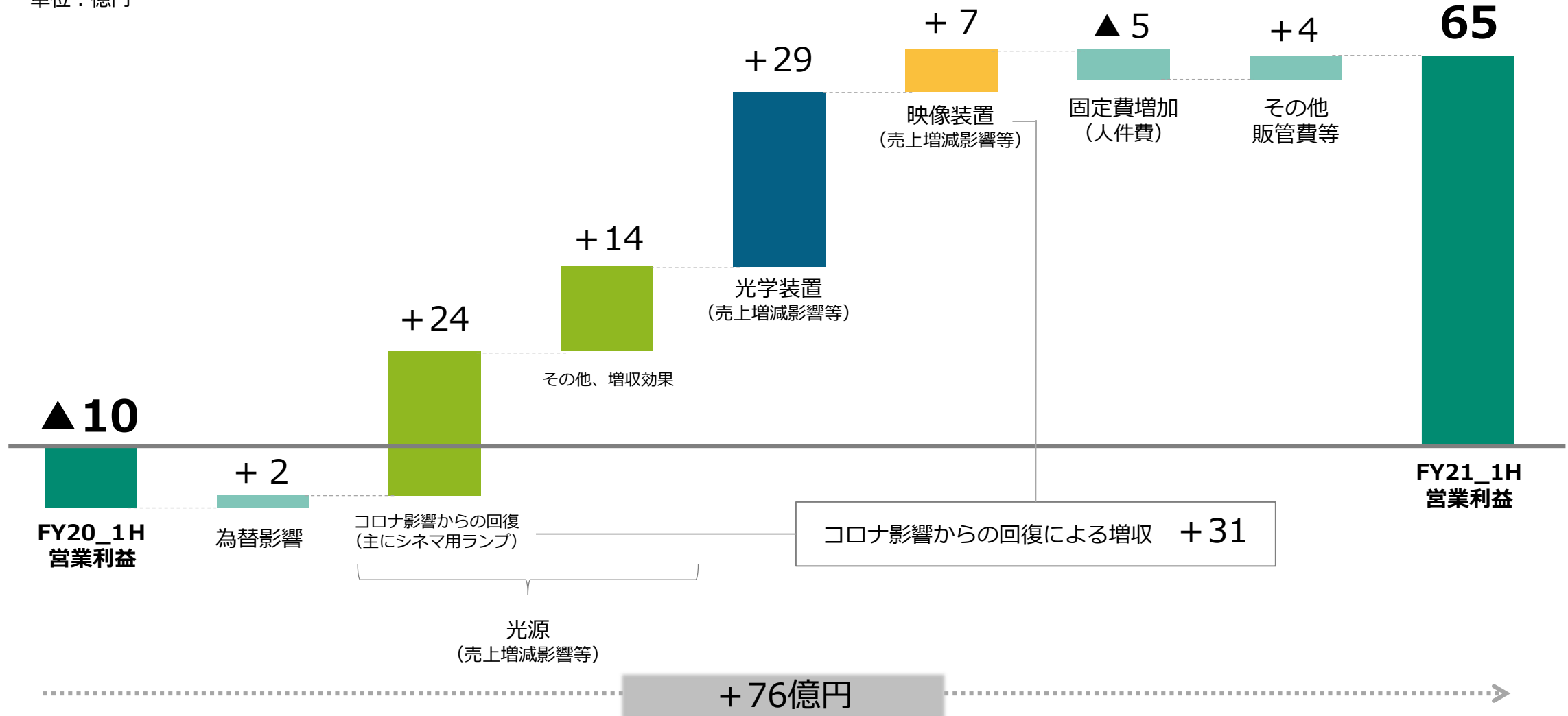
親会社株主に帰属する  
**四半期純利益** : **65億円** (前年同期比 +84億円)

【特別利益】	固定資産売却益	11億円 (FY20_1H : 0億円)
【特別損失】	臨時休業等による損失	1億円 (FY20_1H : 8億円)
	事業構造改善費用	0億円 (FY20_1H : 8億円)

	(億円)	FY20	FY21	前年同期比	
		1 H	1 H	増減額	%
売上高		520	715	+195	+37.6
営業利益		▲10	65	+76	-
営業利益率(%)		▲2.1	9.2	+11.2P	-
経常利益		4	76	+72	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益		▲19	65	+84	-
EPS (円)		▲16.36	53.96	+70.32	-
為替レート (円)	USD	107	110	+3	-
	EUR	121	131	+10	-

# 前年同期比 営業利益増減分析

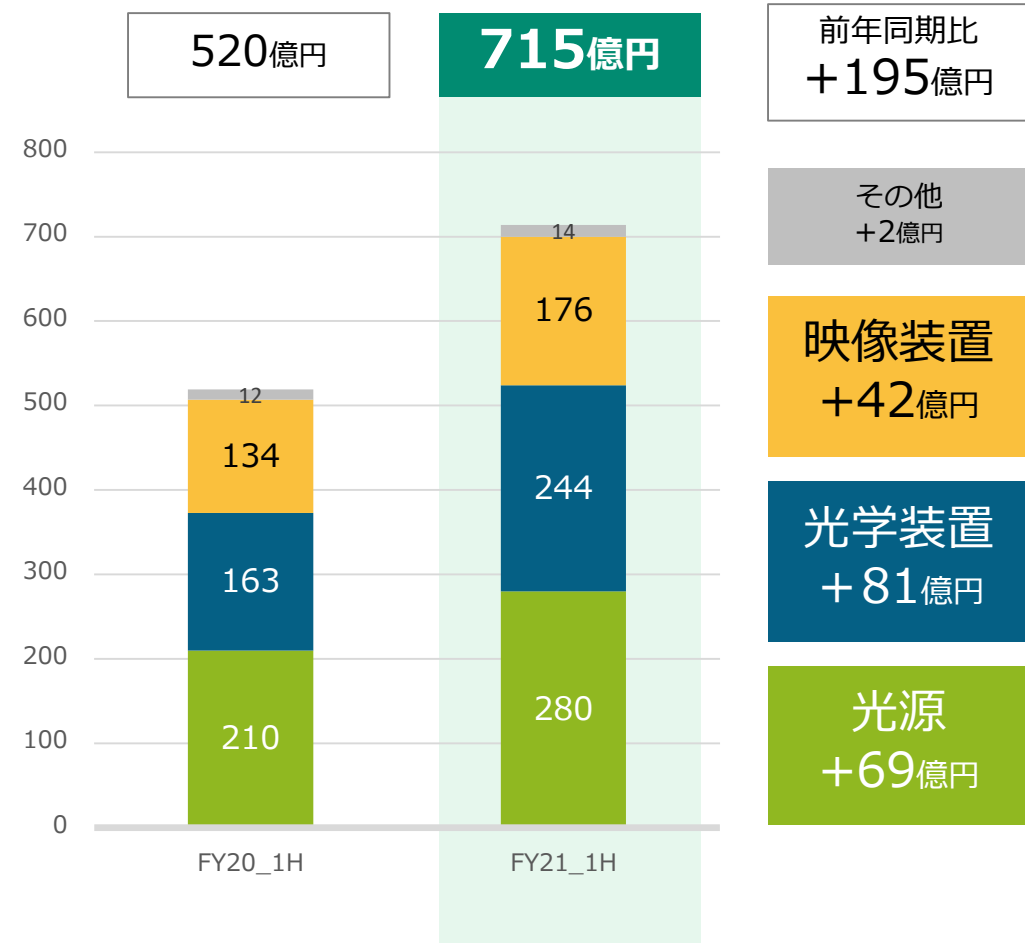
単位：億円



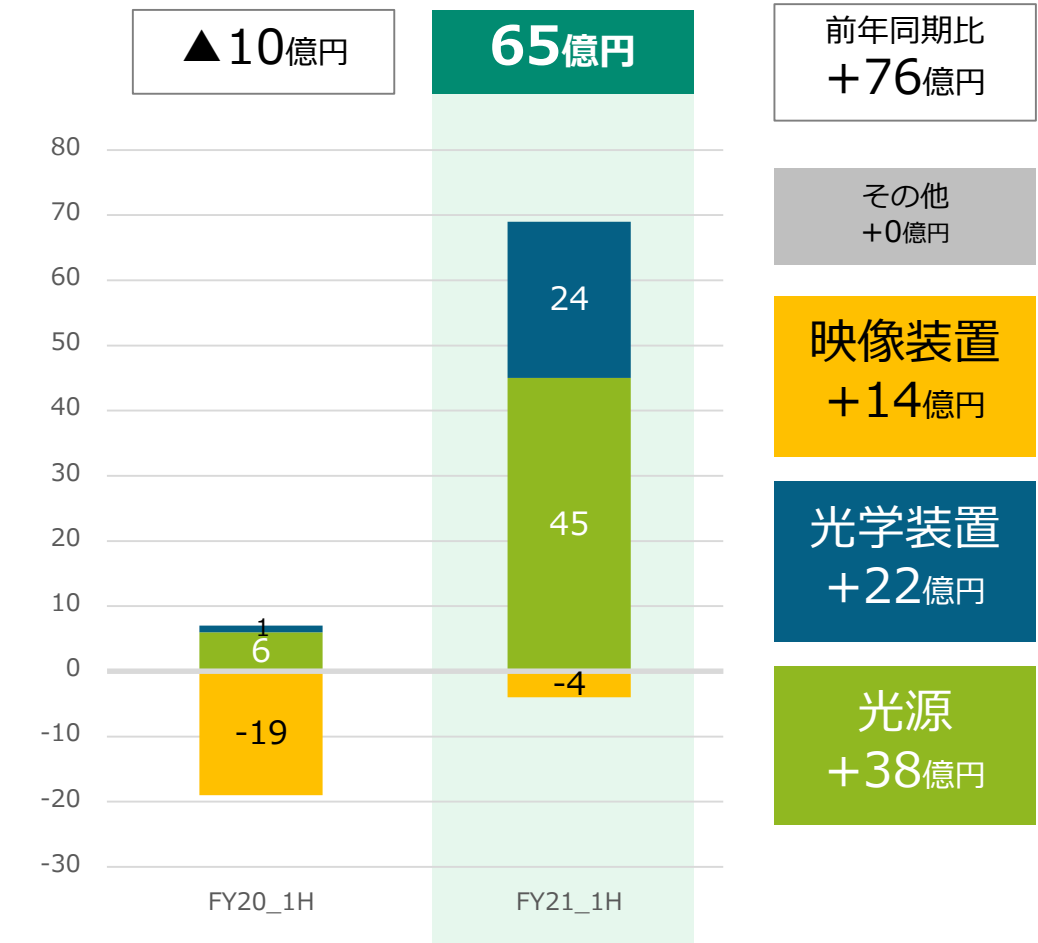
注：「光源 (売上増減影響等)」～「その他販管費等」は、「為替影響」を除いた金額。

# セグメント別 売上高、営業利益

## 売上高



## 営業利益



## ■ エレクトロニクス分野

### **IoTや5Gなどの進展を背景に、新規投資や高稼働が継続**

- FPD市場は、巣ごもり需要により液晶パネルの生産稼働高水準も、需要一巡で今後は需給バランス調整の動き
- 半導体、プリント基板市場などは、IoTや5Gなどの進展に伴う需要増加及び技術革新により高稼働かつ設備投資等旺盛
- IoT進展によるデータ処理量増加に伴い、半導体の高速化・低消費電力化が進み最先端ICパッケージ市場は高成長

## ■ ビジュアルイメージング分野

### **新型コロナワクチン接種普及などを背景に各国の経済活動は再開しつつあり、市場は回復傾向**

- シネマ市場は、映画館の再開や稼働回復が遅れていた欧米を中心に稼働が改善
- 一般映像市場は、APACでは新型コロナ前の状況に回復も、欧米の投資は緩やかな回復
- OA機器需要は、新型コロナ影響から欧米、アジアで回復

## ■ 共通

### **半導体等の部材不足等 及び 中国の電力制限による各事業影響は軽微も、引き続き動向を注視**



光源 (億円)	FY20	FY21	前年同期比	
	1 H	1 H	増減額	%
売上高	210	280	+69	+33.1
放電ランプ	139	188	+48	+34.9
ハロゲンランプ	39	51	+11	+29.9
固体光源	30	39	+8	+29.0
営業利益	6	45	+38	+566.4
営業利益率	3.2%	16.1%	+12.9P	-

放電ランプ 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **UVランプ（+11億円、+20%）**  
 巣ごもり需要による液晶パネル需要が高水準、販売が増加  
 半導体、電子部品向け需要は、堅調に推移
- ・ **シネマ用ランプ（+20億円、+170%）**  
 中国に加え、欧米の映画館も徐々に再開し販売が増加
- ・ **データプロジェクター用ランプ（+5億円、+38%）**  
 新型コロナ影響で低調であったプロジェクター需要回復により販売が増加
- ・ **光学機器（+9億円、+39%）**  
 主にCare222が貢献も、想定を下回り推移

ハロゲンランプ 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **OA用ランプ（+3億円、+16%）**  
 新型コロナからの需要回復により販売が増加
- ・ **その他（+7億円、+64%）**  
 半導体需要増に伴い、主に半導体向けヒーター用ランプの販売が増加

固体光源 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **固体光源（+8億円、+29%）**  
 センシング・ソーティング市場が新型コロナ影響から回復し、販売が増加

光学装置

	FY20	FY21	前年同期比	
	1 H	1 H	増減額	%
(億円)				
売上高	163	244	+81	+49.7
営業利益	1	24	+22	-
営業利益率	1.0%	9.9%	+9.0P	-

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **UV装置（+30億円、+31%）**  
最先端ICパッケージ基板、プリント基板向け露光装置の  
販売が増加
- ・ **キュア装置（+11億円、+58%）**  
中国向け液晶関連装置の販売が増加
- ・ **その他（+39億円、+88%）**  
EUV関連の販売が増加

映像装置

	FY20	FY21	前年同期比	
	1 H	1 H	増減額	%
(億円)				
売上高	134	176	+42	+31.4
営業利益	▲19	▲4	+14	+76.8
営業利益率	▲14.4%	▲2.5%	+11.9P	-

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **シネマ（+18億円、+32%）**  
新型コロナからの回復で中国市場中心にDCP販売が増加
- ・ **一般映像（+22億円、+34%）**  
中国・北米市場の映像関連製品の販売が増加  
  
(営業利益) 構造改革による固定費削減効果

- 
- I. FY2021 1H業績概況
  - II. FY2021 今後の見通し
  - III. 参考資料

光源 及び 光学装置セグメントの 製品ミックス改善 や 原価改善、経費抑制 により各利益段階を上方修正

(億円)	FY21 通期予想			FY21		FY20		
	今回	前回 2021.6.29	差異	1 H	進捗率 (%)	通期	差異	
売上高	1,500	1,500	-	715	47.7	1,185	+314	
営業利益	110	90	+20	65	59.7	7	+102	
営業利益率 (%)	7.3	6.0	+1.3P	9.2	-	0.6	+6.7P	
経常利益	125	105	+20	76	61.5	34	+90	
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	80	+20	65	65.1	▲6	+106	
EPS (円)	82.93	66.35	+16.58	53.96	65.1	▲5.70	+88.63	
ROE (%)	4.6	3.8	+0.9P	3.0	-	▲0.3	+5.0	
年間配当 (円)	26	26	-	-	-	26	-	
為替レート (円)	USD	105	105	-	110	-	106	▲1
	EUR	125	125	-	131	-	123	+2

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

# セグメント別 売上高、営業利益 予想

		FY21通期予想			FY21		FY20	
(億円)		今回	前回 2021.8.3	差異	1 H	進捗率 (%)	通期	差異
光源	売上高	580	580	-	280	48.3	457	+122
	営業利益	80	70	+10	45	56.4	32	+47
	営業利益率	13.8%	12.1%	+1.7P	16.1%	-	7.1%	+6.7P
光学装置	売上高	500	500	-	244	48.9	389	+110
	営業利益	30	20	+10	24	81.1	8	+21
	営業利益率	6.0%	4.0%	+2.0P	9.9%	-	2.2%	+3.8P
映像装置	売上高	390	390	-	176	45.2	310	+79
	営業利益	0	0	-	▲4	-	▲34	+34
	営業利益率	0.0%	0.0%	-	▲2.5%	-	▲11.2%	+11.2P
その他	売上高	30	30	-	14	49.5	27	+2
	営業利益	0	0	-	0	-	0	▲0
	営業利益率	0.0%	0.0%	-	1.2%	-	2.1%	▲2.1P
連結合計	売上高	1,500	1,500	-	715	47.7	1,185	+314
	営業利益	110	90	+20	65	59.7	7	+102
	営業利益率	7.3%	6.0%	+1.3P	9.2%	-	0.6%	+6.7P

# セグメント別 売上高、営業利益 予想 / 2Hの見込み

		FY21通期予想			2Hの見込み	
		(億円)	通期 (今回)	1H		2H (参考)
光源	売上高		580	280	299	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UVランプ：巣ごもり需要(液晶パネル)は一服し供給調整へ、半導体等需要は堅調</li> <li>・シネマ用ランプ：欧米市場を中心に順調に需要回復</li> <li>・Care222：下期以降の引き合い、受注は上期比増加。下期以降、販促活動強化</li> <li>・OA用ランプ：需要は回復傾向、今後の顧客による部材不足等の動向は注視</li> </ul>
	営業利益		80	45	34	
	営業利益率		13.8%	16.1%	11.6%	
光学装置	売上高		500	244	255	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最先端ICパッケージ基板向け露光装置：下期も高水準で推移</li> <li>・ダイレクトイメージング露光装置：高精細モデル中心に受注は好調</li> <li>・EUVマスク検査用EUV光源：案件が来期へシフトにより、上期比低調な水準</li> <li>・次世代露光機等向けの積極開発投資を継続（上期比で増）</li> </ul>
	営業利益		30	24	5	
	営業利益率		6.0%	9.9%	2.2%	
映像装置	売上高		390	176	213	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シネマ：新型コロナから回復傾向も、設備投資の本格的な回復は来期以降 本格的なDCPの置き換え需要はFY23以降</li> <li>・一般映像：需要はアジア・北米中心に回復傾向</li> </ul>
	営業利益		0	▲4	4	
	営業利益率		0.0%	▲2.5%	2.1%	
その他	売上高		30	14	15	
	営業利益		0	0	▲0	
	営業利益率		0.0%	1.2%	▲1.2%	
連結合計	売上高		1,500	715	784	
	営業利益		110	65	44	
	営業利益率		7.3%	9.2%	5.7%	

## シネマ関連：欧米・中国において順調な市場回復の動き、東南アジアは限定的な稼働も再開の兆し

- ・ワクチン普及等に伴い、北米・欧州を中心に映画館再開の動きが進み、**全体としては回復傾向**  
今後大型ハリウッド作品リリースの動きに連動して、**さらなる稼働改善の見込み**  
→ 2 Q時点：世界平均のスクリーン稼働率×上映回転率 約 6 割
- ・感染状況の悪化に伴い 2 Qは多くの国で稼働が停止していた東南アジアも再開の兆し。現在時短稼働だが、今後段階的に稼働が改善されていく見込み

### <主要な地域の状況>

主要地域	劇場の再開状況
北米 (約20%)	・ 8 割強のスクリーンが再開。今後公開作品の増加に合わせ、回転率も上がっていく見込み
中国 (約35%)	・ 約 9 割が再開。国産映画等を中心に営業・興行収入も順調に回復
EMEA (約20%)	・ 8 割弱まで再開。採算の面から間引き稼働などはあるものの、全体的には規制緩和の動き

( ) は、世界におけるスクリーン割合

項目	足元 及び 今後の状況	売上高推移見込み																								
<p>最先端IC パッケージ基板 向け露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICパッケージ市場の成長継続、受注・引き合いは順調</li> <li>生産能力の増強（1.3倍以上）はFY22下期以降の販売に寄与</li> <li>次世代露光機へ開発投資（高生産性×微細化）</li> </ul>	<p>前回より変更なし</p> <table border="1"> <caption>売上高推移見込み (ICパッケージ基板向け露光装置)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>見通し</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY2018</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2019</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2020</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2021</td> <td></td> <td>見通し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2022</td> <td></td> <td></td> <td>計画</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	見通し	計画	FY2018	実績			FY2019	実績			FY2020	実績			FY2021		見通し		FY2022			計画
年度	実績	見通し	計画																							
FY2018	実績																									
FY2019	実績																									
FY2020	実績																									
FY2021		見通し																								
FY2022			計画																							
<p>ダイレクト イメージング 露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT、5G等進展に伴いパッケージ・プリント基板市場成長継続</li> <li>高解像力モデル(2 μmL/S)販売開始、FY22より業績貢献</li> <li>ターゲット：最先端ICパッケージ（Fan-out）、有機パッケージ基板市場等</li> </ul>	<p>前回より変更なし</p> <table border="1"> <caption>売上高推移見込み (ダイレクトイメージング露光装置)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>見通し</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY2018</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2019</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2020</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2021</td> <td></td> <td>見通し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2022</td> <td></td> <td></td> <td>計画</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	見通し	計画	FY2018	実績			FY2019	実績			FY2020	実績			FY2021		見通し		FY2022			計画
年度	実績	見通し	計画																							
FY2018	実績																									
FY2019	実績																									
FY2020	実績																									
FY2021		見通し																								
FY2022			計画																							
<p>EUVリソグラフィ マスク検査用 EUV光源</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客都合で一部来期へシフトも、中長期の市場前提に変化なく市場成長は継続</li> <li>保守メンテナンスは計画通りに推移</li> </ul>	<p>前回より変更なし</p> <table border="1"> <caption>売上高推移見込み (EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>見通し</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY2018</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2019</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2020</td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2021</td> <td></td> <td>見通し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY2022</td> <td></td> <td></td> <td>計画</td> </tr> </tbody> </table> <p>メンテナンス 本体</p>	年度	実績	見通し	計画	FY2018	実績			FY2019	実績			FY2020	実績			FY2021		見通し		FY2022			計画
年度	実績	見通し	計画																							
FY2018	実績																									
FY2019	実績																									
FY2020	実績																									
FY2021		見通し																								
FY2022			計画																							

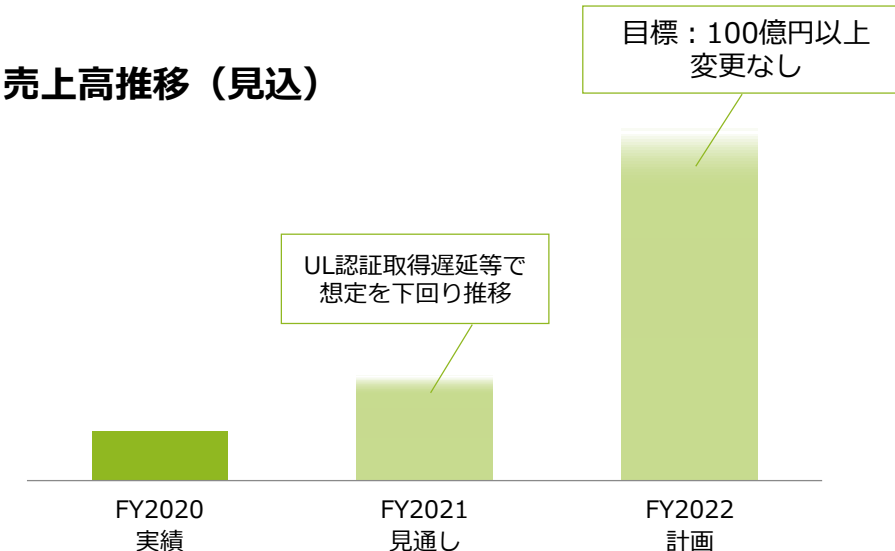


# 有望製品の状況（抗ウイルス・除菌用紫外線照射技術「Care222<sup>®</sup>」）

取り組み		進捗状況等
STEP0	生産体制確立	確立済み
	ブランド価値向上	更なる認知度向上が課題 ・2021年7月にブランドサイト立ち上げ プロモーション強化として <u>展示会出展、広告出稿等を積極的に実施</u>
	製品展開	引き続き、安心・安全な環境ニーズへ訴求 ・各認証への対応 UL*認証取得遅延も、 <u>取得後は販売増加見込み</u> ACGIH*の基準改訂見込み（2022年度中） ・ <u>製品の協業開発・ラインナップ拡充</u>
STEP1	親和性の高い空間インフラへ	・協業展開により販売拡大フェーズへ
STEP2	MaaS市場へ挑戦 厳しい使用環境	・自動車、船舶等への採用に向けた取り組み実施中



## 売上高推移（見込）

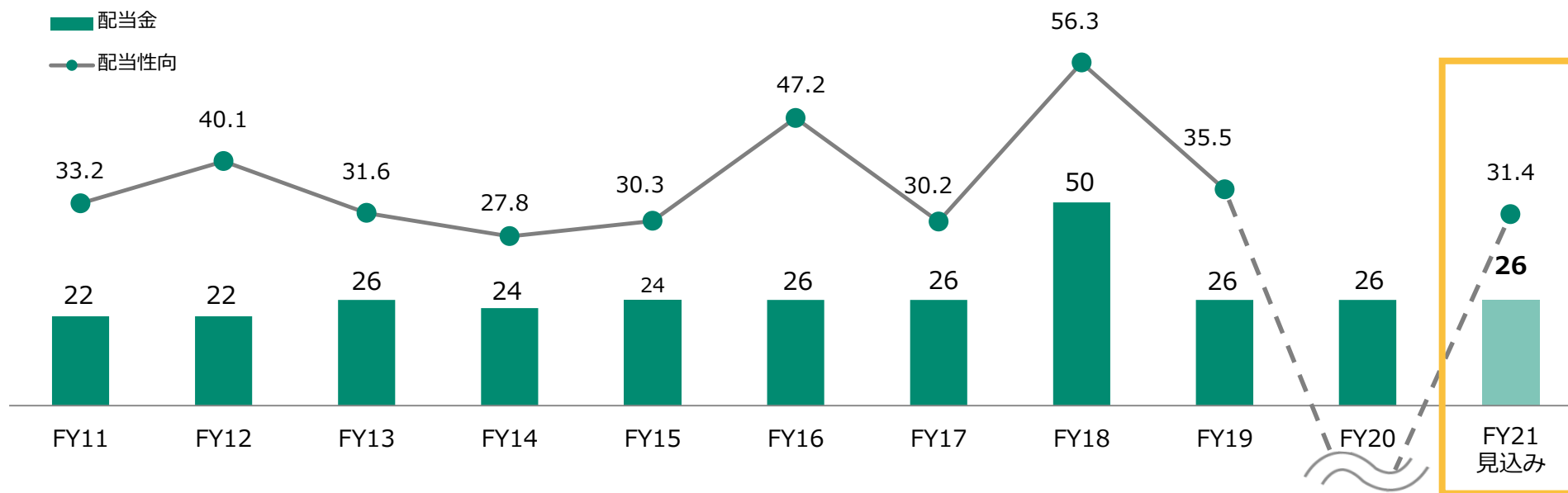


\*UL規格：アメリカ保険業者安全試験所（Underwriters Laboratories Inc.：UL）が策定する製品安全規格

\*ACGIH：労働者の作業環境基準として薬品等の許容濃度（TLV）等のガイドラインを示す、アメリカ合衆国産業衛生専門官会議

## 配当金

2022年3月期の期末配当金（予定）は、安定的な利益還元方針から、1株当たり配当額 **26円**を据え置き



## 自社株買い

自己株式の取得は、機動的に実施。

なお、保有する自己株式の上限は、発行済株式総数の5%を目途とし、その部分を上回る自己株式については毎年消却

- 
- I. FY2021 1H業績概況
  - II. FY2021 今後の見通し
  - III. 参考資料

## Care222に関する2022年3月期 第1四半期決算（2021年8月3日）以降のプレスリリース情報

- ウシオエンターテインメントホールディングスが、アースシネマズ姫路にCare222<sup>®</sup>搭載製品を設置

リリース全文（2021年8月3日発表）：  
<https://clean.ushio.com/jp/news/210803.html>



- Acuity Brands社、北米にてCare222<sup>®</sup>搭載製品の受注開始

リリース全文（2021年8月16日発表）：  
<https://clean.ushio.com/jp/news/210816.html>



- 一般社団法人 日本記念日協会にて、2月22日が「Care222の日」として登録されました

リリース全文（2021年8月18日発表）：  
<https://www.kinenbi.gr.jp/>



- 第94回日本産業衛生学会にて産業衛生技術部会 部会長表彰受賞（演題：『エキシマランプによるニコチンの分解』）

リリース全文（2021年8月18日発表）：  
<https://clean.ushio.com/jp/tech/clean172/index.html>



- Care222<sup>®</sup> i シリーズ販売一時停止のお詫びとお知らせ

リリース全文（2021年9月3日発表）：  
<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500838.html>



- Care222<sup>®</sup> i シリーズ販売再開のお知らせ

リリース全文（2021年10月12日発表）：  
<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500851.html>



- 国および大阪府の「ワクチン・検査パッケージ」に関する技術実証に参加

リリース全文（2021年10月29日発表）：  
<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500855.html>



## USHIO

### 次世代半導体量産用EUV光源

開発/生産/販売



光源販売  
メンテナンス

マスク検査装置メーカー  
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大  
ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加  
メンテナンス機会の増加

### ●ウシオのEUV光源開発の歴史

2000年 EUV光源開発開始

2001年 EUVA\*設立、参画

\*極端紫外線露光システム開発機構

2013年 リソグラフィ用途から撤退

2016年 オランダ研究機関TNOへ

EUV光源納入

2018年 検査用（評価用）初号機納入

2019年 量産ライン用初号機納入、検収

### ●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

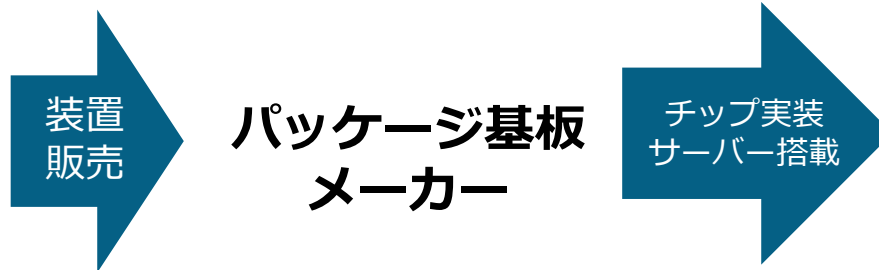
長年積み重ねたEUV技術

(コンパクト/高輝度/高出力)

## USHIO

### 分割投影露光装置 (UX-5) 製造、販売

最先端・次世代パッケージの需要拡大



IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用  
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場：年率20%以上成長（自社調べ）  
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

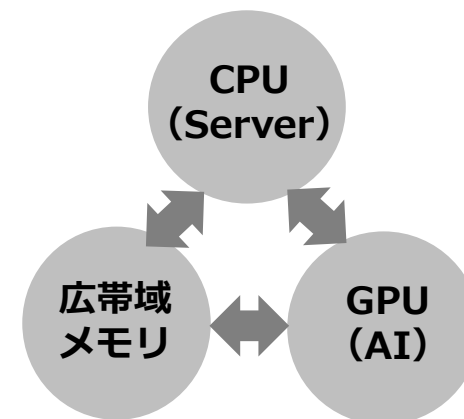
### ●世界シェア：100%維持

ハイエンドBGA基板露光市場（自社調べ）



### ●UX-5の強み（特長）

1. 大面積一括投影露光  
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触  
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度  
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度  
→ 配線ピッチ微細化・プロセスマージン





## ダイレクトイメージング露光装置

開発・製造・販売

微細化対応

高生産性



アプリケーションの革新に対応した  
プリント配線板需要の増加

装置  
販売

## プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

基板  
搭載

消費電力対応  
小型化対応

### ●ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)  
世界最速の高生産性(ミドルエンド)  
+  
顧客本位の保守サポート能力

5G導入による  
各種アプリケーションの革新と需要の増加

データセンター  
基地局  
需要増

スマートフォン  
通信機器  
需要増

車載  
需要増

5Gサービス  
世界各国で  
開始・拡大

■ 最先端半導体のFOパッケージ、有機パッケージ基板（先端BGA）などに向けた直描式露光装置を開発

リリース全文（2021年7月12日発表）：

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1003/2021-2021/500818.html>



# 四半期推移《損益》

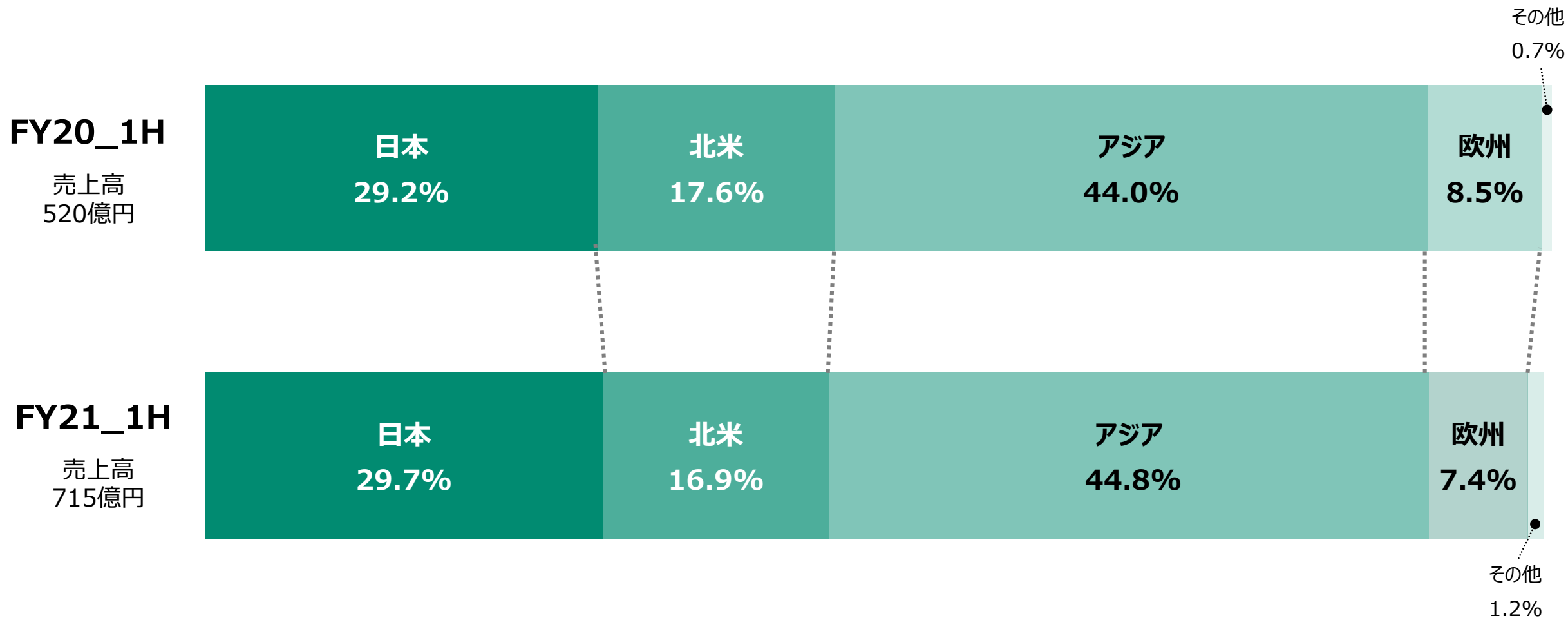
(億円)	FY20				FY21		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	%
売上高	236	283	304	361	349	<b>366</b>	+82	+29.2
営業利益	▲7	▲3	6	11	25	<b>39</b>	+43	-
営業利益 (%)	▲3.1	▲1.1	2.2	3.2	7.4	<b>10.9</b>	+12.1P	-
経常利益	3	0	12	17	33	<b>43</b>	+42	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲10	▲9	9	3	33	<b>31</b>	+40	-
EPS (円)	▲8.76	▲7.60	7.66	2.99	28.02	<b>25.94</b>	+33.54	-
為替レート (円)	USD	108	106	105	105	110	+4	-
	EUR	118	124	124	128	132	+7	-



# 四半期推移《セグメント別損益》

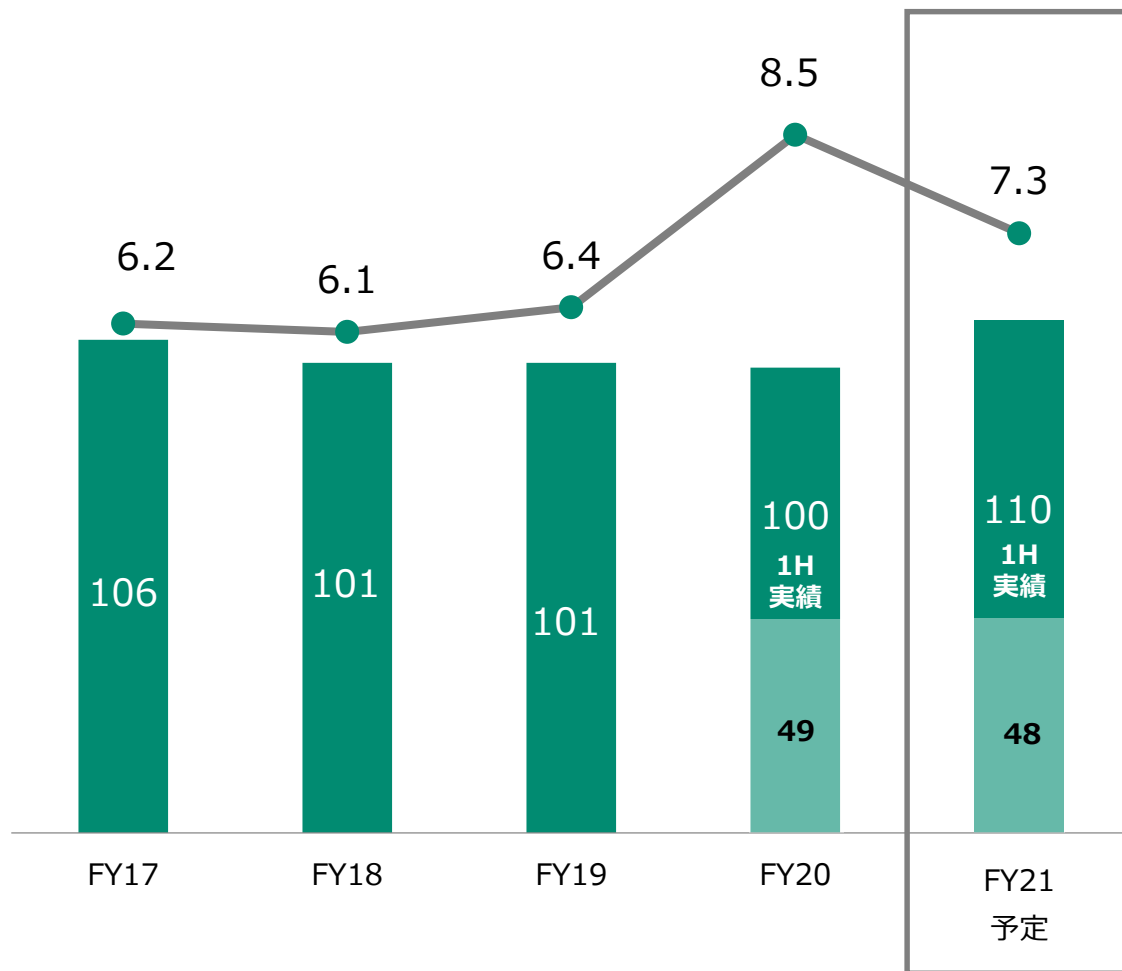
		FY20				FY21		前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	%
光源	売上高	104	105	116	130	136	143	+37	+35.4
	営業利益	4	1	7	17	19	25	+23	-
	営業利益率(%)	4.6	1.8	6.8	13.5	14.3	17.8	+16.0P	-
光学装置	売上高	71	92	94	131	124	120	+28	+30.5
	営業利益	0	0	0	6	10	13	+12	-
	営業利益率(%)	1.1	0.9	0.8	4.6	8.7	11.3	+10.4P	-
映像装置	売上高	54	79	85	90	82	94	+14	+17.9
	営業利益	▲12	▲6	▲2	▲12	▲4	0	+6	-
	営業利益率(%)	▲23.9	▲8.0	▲3.3	▲14.1	▲5.8	0.3	+8.3P	-
その他	売上高	6	5	7	8	6	8	+2	+52.5
	営業利益	▲0	0	0	0	▲0	0	+0	-
	営業利益率(%)	▲3.6	0.1	4.3	6.1	▲0.2	2.2	+2.2P	-
連結合計	売上高	236	283	304	361	349	366	+82	+29.2
	営業利益	▲7	▲3	6	11	25	39	+43	-
	営業利益率(%)	▲3.1	▲1.1	2.2	3.2	7.4	10.9	+12.1P	-

# 地域別売上高比率

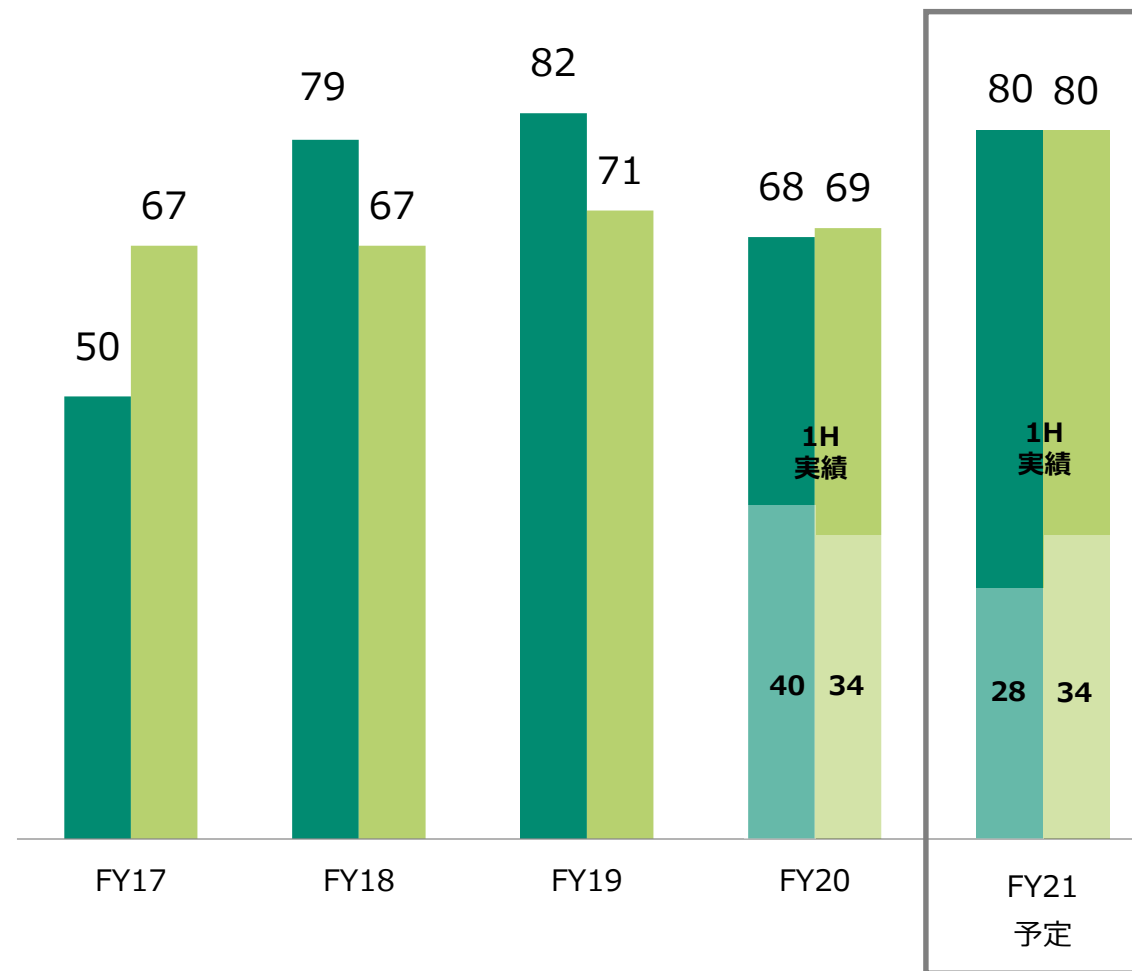


# 研究開発費／設備投資額・減価償却費

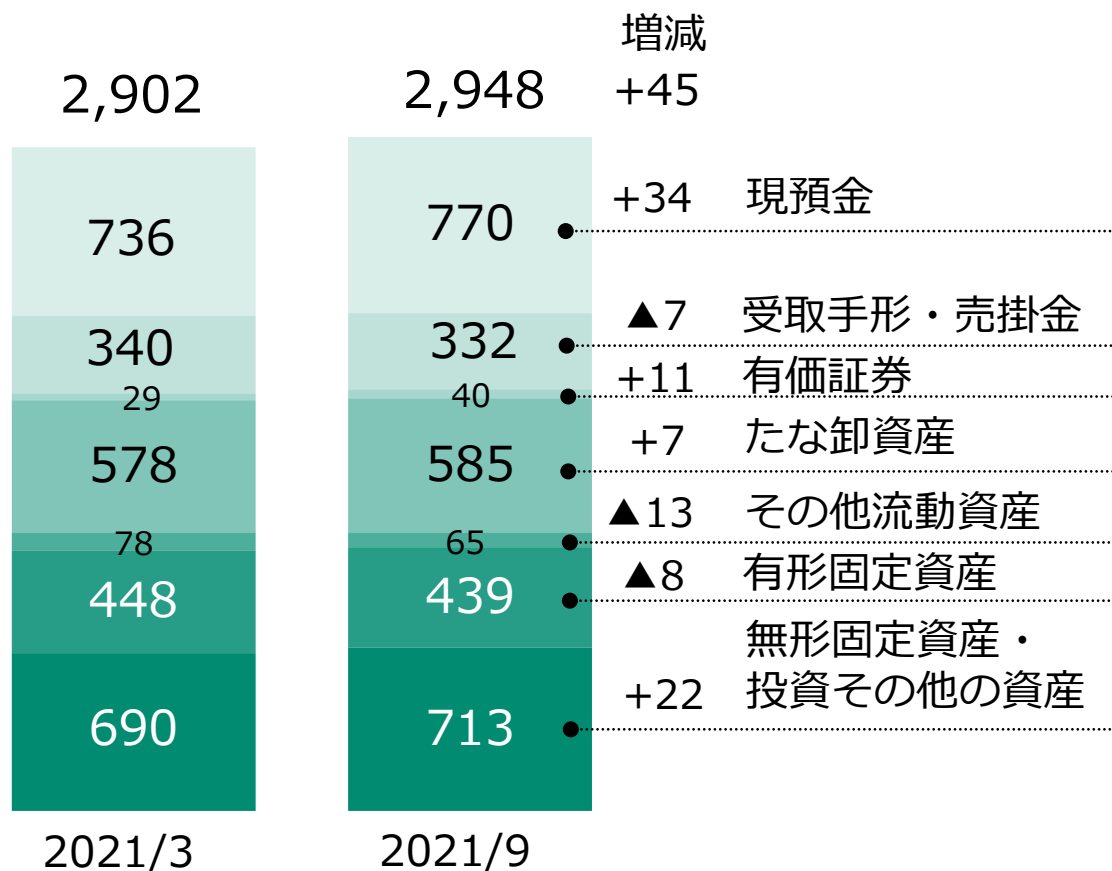
■ 研究開発費 (億円)  
 — 売上高研究開発費率(%)



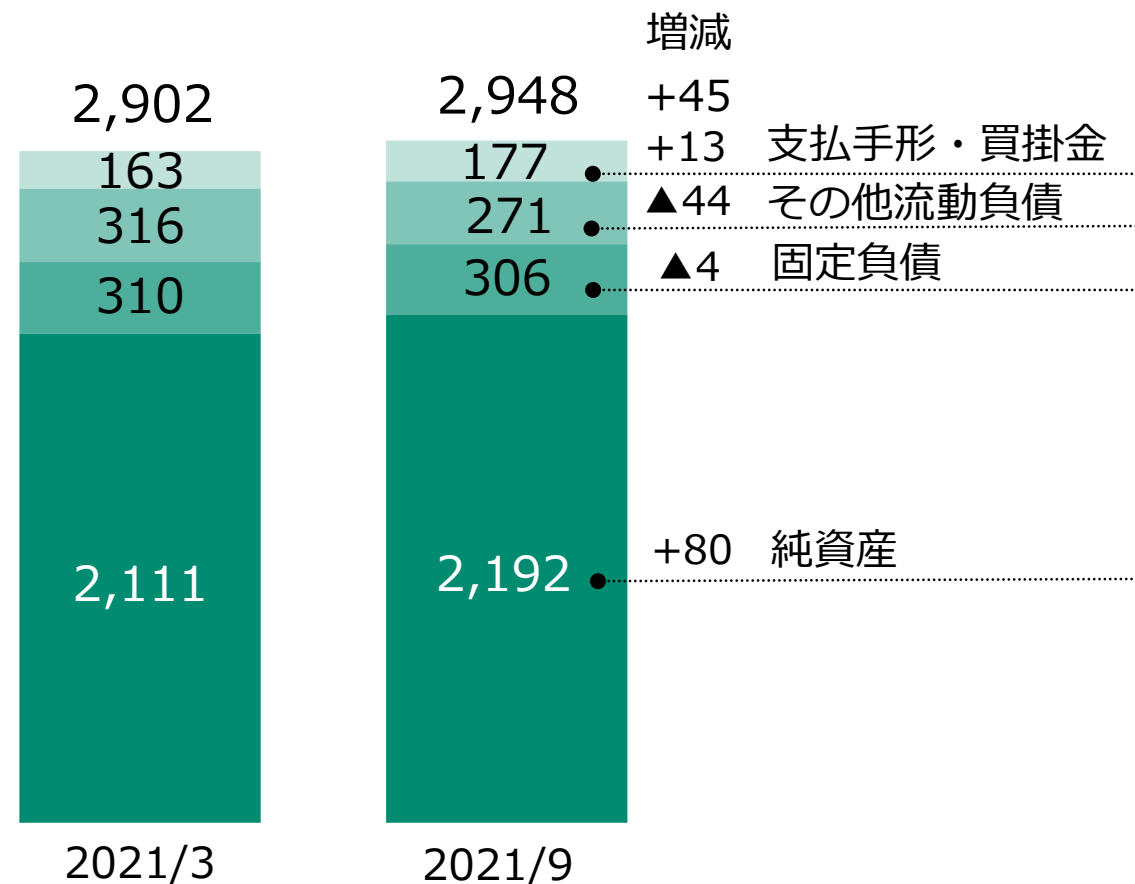
■ 設備投資額 (億円)  
 ■ 減価償却費 (億円)



資産 (億円)



負債・純資産 (億円)

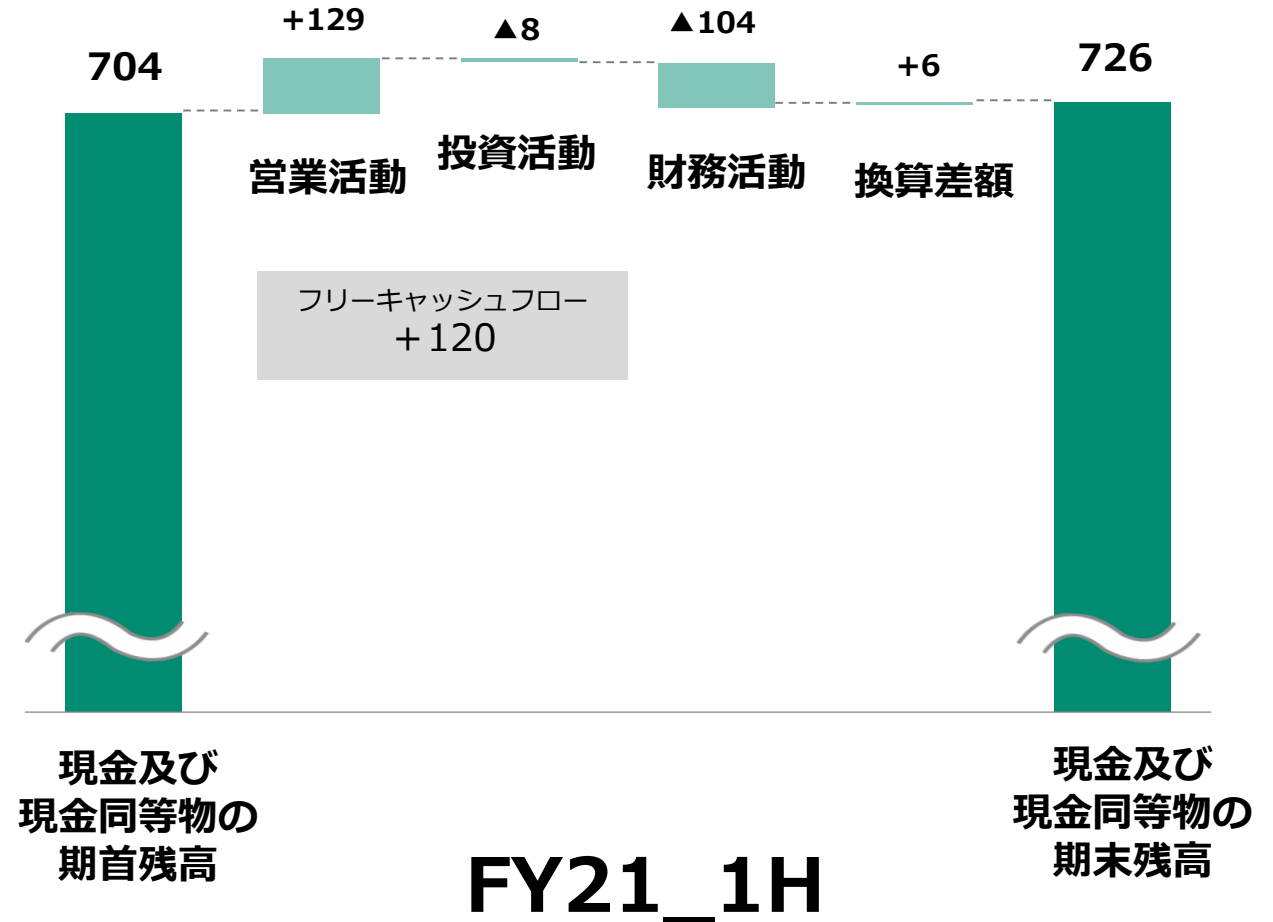
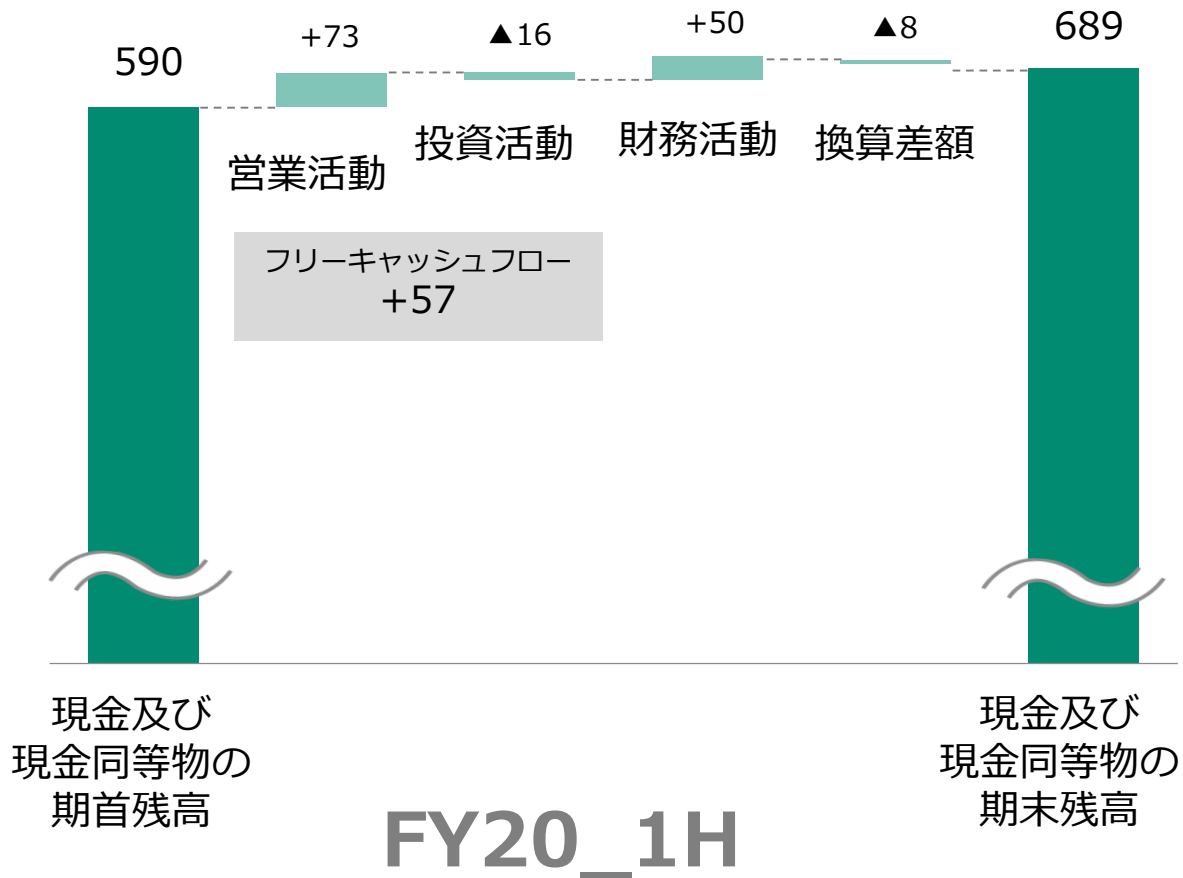


●回転月数 (ヶ月)	2021/3	2021/9
売上債権	3.8	2.8
たな卸資産	5.8	4.9

●自己資本比率 (%)	2021/3	2021/9
	72.7	74.3

# キャッシュフロー

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
COF	Chip on Film	フレキシブル基板などのフィルム基板上へICチップを直接実装すること
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスク等を使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノがインターネット経由で通信すること
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	光の3原色である赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）の頭字語
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 <sup>th</sup> Generation	第5世代移動通信システム

# USHIO

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）経営企画部  
(03) 5657-1007  
[ir@ushio.co.jp](mailto:ir@ushio.co.jp)  
<https://www.ushio.co.jp/jp/>